

リスクアセスメント報告書 (事例1-2)

対象作業名 : 間伐作業

実施者氏名 : ○○さん、△△さん、□□さん、◎◎さん

報告書作成日 : 平成○○年○○月○○日

| No. | 危険要因の洗い出し | | | | | リスク見積り(現状) | | リスク評価(現状) | リスク低減対策 | | | 改善に当たり考慮すべき事項 | 優先順位 | |
|--|-----------|---------|----------------------|-----------------------------|---------------------|------------|-----|-----------|---|-----|--------|---------------|---|-------------|
| | 作業名 | 危険要因の内容 | 災害に至るプロセス | | | 可能性 | 重大性 | リスクレベル | 可能性 | 重大性 | リスクレベル | | | |
| | | | ～するとき | ～したので | ～(事故の型)になる | | | | | | | | | |
| 8 | 伐倒作業 | つるがらみの木 | 伐倒するとき | つるがらみの木が引っぱられて倒れ | 下敷きになる | △ | × | 4 | ①周辺の木のつるがらみの状態をよく確認する ②あらかじめつるを切り離しておく ③切る木の順番と方向を十分考えて切る | ○ | △ | 2 | つるがらみ木の伐倒の基本を再教育する ノコ、鎌等をのばしてつるを切り離す 前年の夏前につるの元を切っておく 複数の作業員で処理方法を決め作業する | 1 2 |
| 9 | かかり木処理作業 | かかり木 | かかり木を処理するため元玉切りをしたとき | かかり木の倒れる方向が変わり | 下敷きになる | × | × | 5 | ①機械力(ウインチ等)を用いて引き倒す ②木回し、けん引具等を用いて処理する | ○ | △ | 2 | ガイドブロックを使い安全な方向に引く 回転させて倒す | 1 2 |
| 10 | かかり木処理作業 | かかり木 | ウインチでかかり木を引き寄せるとき | 元口が障害物に当たり、引き寄せ中のかかり木が起き上がり | 機体方向に倒れ激突する | △ | × | 4 | ①引き寄せる方向に障害物がないか確認する ②ワイヤロープをかかり木の元口の近くにかける | ○ | ○ | 1 | ①②をあわせて行う ガイドブロックを使い安全な方向に引く | 1 |
| <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> リスク低減対策は、検討の順序に従って考える ①危険作業を廃止。作業のやり方、機械、道具等を変更 ②安全装置、保護具等の使用 ③教育訓練、作業管理等の実施 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 200px;"> 対策後のリスクレベルを確保する方法を具体的に示す ①対策後に発生する別の新しいリスクに対応する事項 ②残留リスクが増大しないように考慮すべき事項 </div> | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 造材作業(枝払い) | ソーチェーン | 枝払い中に | ため枝が跳ね、チェーンソー本体で防ごうとして | ソーチェーンが膝に当たる | △ | △ | 3 | ①ため枝は、まず半分程度の箇所を切り、ついで根元を切る ②チェーンソー用防護衣を着用する | ○ | ○ | 1 | 反発を和らげるため、ため枝の内側からのこ目を入れた後、外側から切る 防護衣は正しく着用する | 2 1 |
| 12 | 造材作業(枝払い) | ソーチェーン | 材の上で枝払い中に | チェーンソーが切断枝でキックバックを起こし | ガイドバーが足(つま先/すね)に当たる | △ | △ | 3 | ①材の上で作業をしない ②ガイドバーの先端部分を使って枝払いをしない ③チェーンソー用防護衣を着用する | △ | ○ | 2 | 安全作業の基本を再教育する チェーンソーの基本操作を再教育する 防護衣は正しく着用する | 2 3 1 |
| 13 | 造材作業(枝払い) | 玉切り材 | 急斜地で玉切り作業を終えたとき | 支え杭が材を保持できず、材が転がってきて | 巻き込まれ斜面を落下 | △ | × | 4 | ①支え杭をしっかり打ち込み材を安定させておく | ○ | ○ | 1 | 安全作業の基本を再教育する | 1 |

リスクの評価基準

災害の可能性

| 可能性ランク | 記号 |
|-----------|----|
| かなり起こる | × |
| たまに起こる | △ |
| ほとんど起こらない | ○ |

災害の重大性

| 重大性ランク | 記号 |
|--------|----|
| 極めて重大 | × |
| 重大 | △ |
| 軽微 | ○ |

リスクレベル

| リスクの見積り | リスクレベル |
|----------|--------|
| ×× | 5 |
| ×△、△× | 4 |
| ○×、×○、△△ | 3 |
| ○△、△○ | 2 |
| ○○ | 1 |

リスクへの対応

| リスクレベル | リスクへの対応 |
|--------|--|
| 5 | 受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある |
| 4 | 受け入れ不可能なリスクであり、抜本的な対策を実施する必要がある |
| 3 | 受け入れ不可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある |
| 2 | 受け入れ可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり) |
| 1 | 受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり) |